

県民ニーズ調査から要望が多く挙げられた付帯機能

○△はアンケートによるニーズの度合い

	施設の種類	ニーズ	導入に向けた検討事項
スポーツ関連施設	トレーニングジム・フィットネスルーム(グレードの高いスポーツジム)	○	・必要面積はプールや温浴施設を備えるかどうかにより異なる ・フィットネス機能のみなら300㎡、プール、温浴付なら600～1000㎡
	芝生練習場(サッカー・フットサル・ラグビー練習やスクール等に利用)	○	・通常の試合で利用する練習場スペースを開放して利用 ・一般開放利用ができる設えにする必要あり
	ロッカー室・シャワー室(他の公園施設利用者も利用可)	○	・上記フィットネスに付随する機能
	ランニングコース(コンコース(通路スペース)下で雨天時も利用可)	○	・雨天利用できるように、屋根のあるスタジアムコンコースを周回できるようにすること ・かつ日常的に利用できるように解放可能な配置、セキュリティにすることが必要 ・コンコースを利用した場合、1周500～600m程度の距離となる
	アリーナ(小規模な体育館施設)	○	・地元競技団体ニーズあり ・フットサル、バスケなどの屋内スポーツ利用に一般開放する場合には広さ、天井高さの確保 ・設置する場合は500～600㎡の平土間確保が必要
	スポーツクリニック(スポーツ整形外科等による診断など)	△	・上記フィットネスに付随する機能として設置 ・事業実現可能性については立地する民間テナント事業者(クリニック)の意向による
便益施設	飲食店(カフェ、スポーツカフェ、スポーツバー等)	○	・カフェ、レストラン、バーなど店内での飲食が可能な機能については立地する民間テナント事業者の意向による ・試合日以外の集客がしやすい場所でなければ事業として成立しづらい
	レストフン(健康食、ダイエット食、スポーツ食等を提供)	○	・広さとしては300㎡程度が必要 ・日常的な利用を想定する場合は1Fへの設置等、スタジアム外からアクセス可能な動線確保が必要 ・広さは最低でも100㎡程度が必要
	コンビニエンスストア	○	・立地する民間テナント事業者の意向による ・日常的な利用を想定する場合は1Fへの設置等、スタジアム外からアクセス可能な動線確保が必要
その他施設	子ども広場(遊具、ボール遊び場、ボルダリング体験など)	△	・全体のニーズは高くないが子育て世代にニーズがあり、ファミリー向けに設置検討 ・スタジアム屋内において遊具などを設置することで、雨天でも利用できる屋内の配置が望ましい ・日常的な利用ができるような配置、セキュリティに配慮 ・有償にして民間事業にする場合と無償で公共サービスにする場合によって規模や仕様が異なる
	スポーツミュージアム(県内スポーツの歴史展示等)	△	・県民ニーズは高くないが、ショップとの隣接やVIP向け、ビジネスラウンジ向けとして設置検討
施設活用	コンサート・イベント会場(フィールド・スタンドなどを活用して開催)	○	・ピッチ、メインスタンドの施設等を活用してイベント等での利活用を検討
	研修室・会議室(諸室を活用して会議、集会、講座等で利用)	○	・競技団体ニーズあり ・上記イベントルーム等との一体的な運用を想定し、民間事業者側の意向を踏まえて設置規模や利活用方策を検討